

事務事業名		浮浪者行旅病人及び行旅死亡人援護事業			会計	一般会計				
H27担当課等名		福祉課		H27係等名	生活福祉係		H26係等名		生活福祉係	
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり			事業種別	経常	開始	終了
		施策	36	生活困難者の自立及び支援						
目的	対象(誰・何を)	浮浪者、行旅病人及び行旅死亡人			対象指標	指標名及び単位		26年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	最低限の援護がなされる				移動用旅費支給者(人)		2		
	向上させたい上位施策の成果指標	生活相談者数/人口(外国人を含む)(%)				最終目標は過去3年間の平均(人)				
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	移動用旅費等支給者数/旅費等支給希望来所者数(%)			100	100	100	100		
	定性目標									
事業概要	浮浪者に対し移動用の旅費食費計500円の支給を行う。冬季等でやむを得ない場合は宿泊保護を行うこともある。行旅死亡人及び葬儀を執り行う者のいないものに対する葬儀等を執り行う。									
26年度事業内容	事業内容				名称			活動指標		
	1 浮浪者に対し、移動用旅費及び食費を交付。冬期間は宿泊費を支給				1 浮浪者対応 (1) 移動用旅費等支給者 人 (2) 宿泊保護者 人			1 (1) 2人 (2) 0人		
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		614	72	1	72					
国庫支出金										
県支出金		139								
起債										
その他		302								
一般財源		173	72	1	72					
人件費計(千円)②		715		715						
正規職員所要時間		200		200						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		1,329	72	716	72					
事業内容・目標達成状況の振り返り	必要な者に対応できた。									
改革改善の考え方	①問題点	予測ができないので、適宜対応する他ない。								
	②改革提案	今後も浮浪者、行旅病人、行旅死亡人等が出れば対応していく。								